

## 第 30 回建設業経理士検定試験 2 級試験問題

### < 第 4 問 >

問 2 次の<資料>に基づき、解答用紙の部門費振替表を完成しなさい。なお、配賦方法については、直接配賦法によること。

#### <資料>

##### 1. 補助部門費の配賦基準と配賦データ

補助部門	配賦基準	甲工事部	乙工事部	丙工事部
機械部門	馬力数×時間	20×30 時間	15×20 時間	30×10 時間
車両部門	運搬量	?	?	?
仮設部門	セット×日数	3×5 日	?	2×5 日

##### 2. 各補助部門の原価発生額は次のとおりである。

(単位：円)

機械部門	車両部門	仮設部門
1,440,000	?	960,000

※ 次ページより解説があります。

< 第 4 問の解説 >

問 2 次の<資料>に基づき、解答用紙の部門費振替表を完成しなさい。なお、配賦方法については、直接配賦法によること。

<資料>

1. 補助部門費の配賦基準と配賦データ

補助部門	配賦基準	甲工事事部	乙工事事部	丙工事事部
機械部門	馬力数×時間	20×30 時間	15×20 時間	30×10 時間
車両部門	運搬量	?	?	?
仮設部門	セット×日数	3×5 日	?	2×5 日

2. 各補助部門の原価発生額は次のとおりである。

(単位：円)

機械部門	車両部門	仮設部門
1,440,000	?	960,000

◆解説

まず、資料 2 より、

部門費振替表

(単位：円)

摘要	工事事部			補助部門		
	甲工事事部	乙工事事部	丙工事事部	機械部門	車両部門	仮設部門
部門費合計	7,350,000	3,750,000	2,380,000	1,440,000	549,000	960,000
機械部門費						
車両部門費	231,000	186,000	132,000			
仮設部門費		560,000				
補助部門費配賦額合計						
工事原価						

次に、機械部門、仮設部門の、各工事事部への配賦率を計算します。

機械部門から甲工事事部へ

$$(20 \times 30) \div (20 \times 30 + 15 \times 20 + 30 \times 10) = 0.5$$

乙工事事部へ

$$(15 \times 20) \div (20 \times 30 + 15 \times 20 + 30 \times 10) = 0.25$$

丙工事事部へ

$$(30 \times 10) \div (20 \times 30 + 15 \times 20 + 30 \times 10) = 0.25$$

仮設部門から甲工事事部へ

$$(3 \times 5) \div (3 \times 5 + 2 \times 5) = 0.6$$

丙工事事部へ

$$(2 \times 5) \div (3 \times 5 + 2 \times 5) = 0.4$$

それぞれの配賦額を求めて表に当てはめると、

機械部門から甲工事部へ

$1,440,000 \times 0.5 = 720,000$

乙工事部へ

$1,440,000 \times 0.25 = 360,000$

丙工事部へ

$1,440,000 \times 0.25 = 360,000$

仮設部門から甲工事部へ

$(960,000 - 560,000) \times 0.6 = 240,000$

丙工事部へ

$(960,000 - 560,000) \times 0.4 = 160,000$

部門費振替表

(単位：円)

摘要	工事部			補助部門		
	甲工事部	乙工事部	丙工事部	機械部門	車両部門	仮設部門
部門費合計	7,350,000	3,750,000	2,380,000	1,440,000	549,000	960,000
機械部門費	720,000	360,000	360,000			
車両部門費	231,000	186,000	132,000			
仮設部門費	240,000	560,000	160,000			
補助部門費配賦額合計						
工事原価						

あとは、それぞれ縦に合計して、

部門費振替表

(単位：円)

摘要	工事部			補助部門		
	甲工事部	乙工事部	丙工事部	機械部門	車両部門	仮設部門
部門費合計	7,350,000	3,750,000	2,380,000	1,440,000	549,000	960,000
機械部門費	720,000	360,000	360,000			
車両部門費	231,000	186,000	132,000			
仮設部門費	240,000	560,000	160,000			
補助部門費配賦額合計	1,191,000	1,106,000	652,000			
工事原価	8,541,000	4,856,000	3,032,000			

と、完成します。